

【 健康状態 】

主な疾病・異常の被患率等（男女計）

（１） 裸眼視力1.0未満（図13、表9、表10）

「裸眼視力1.0未満」の者の割合は、幼稚園が18.8%、小学校が25.8%となっています。

これを全国平均値と比べると、幼稚園で5.7ポイント、小学校で6.7ポイント低く、いずれも全国平均値を下回っています。

また、これを前年度と比べると、幼稚園で1.1ポイント減少、小学校で2.0ポイント増加しました。

なお、中学校、高等学校については回答数が少ないため、公表していません。

（２） 眼の疾病・異常（図14、表9、表10）

「眼の疾病・異常」（トラコーマ、流行性結膜炎、アレルギー性結膜炎、斜視など）の者の割合は、幼稚園が0.9%、小学校が2.9%、中学校が3.0%、高等学校が0.6%となっています。

これを全国平均値と比べると、幼稚園で0.7ポイント、小学校で2.8ポイント、中学校で2.7ポイント、高等学校で2.9ポイント低く、全ての学校種別で全国平均値を下回っています。

また、これを前年度と比べると、幼稚園で0.6ポイント、小学校で0.3ポイント、中学校で1.3ポイント増加しましたが、高等学校では0.4ポイント減少しました。

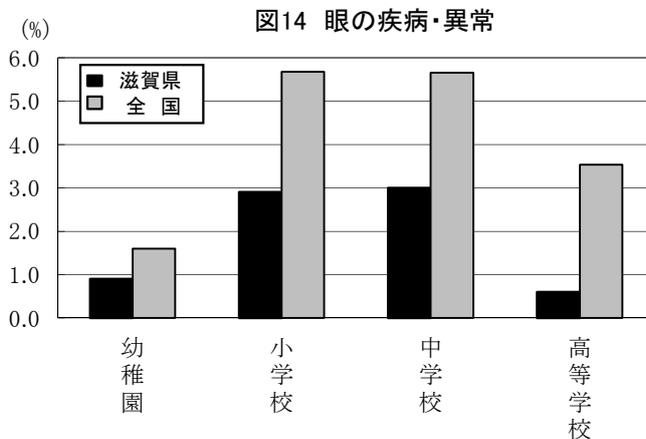
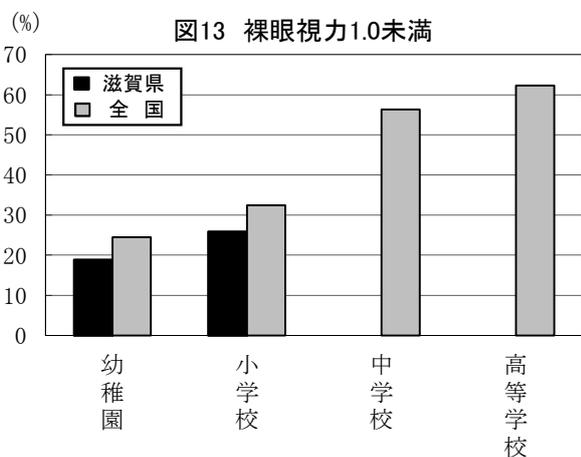
（３） 耳疾患（図15、表9、表10）

「耳疾患」（難聴以外の耳疾患・異常。急性または慢性中耳炎、内耳炎、メニエール病など）の者の割合は、幼稚園が0.4%、小学校が3.3%、中学校が2.2%、高等学校が0.0%となっています。

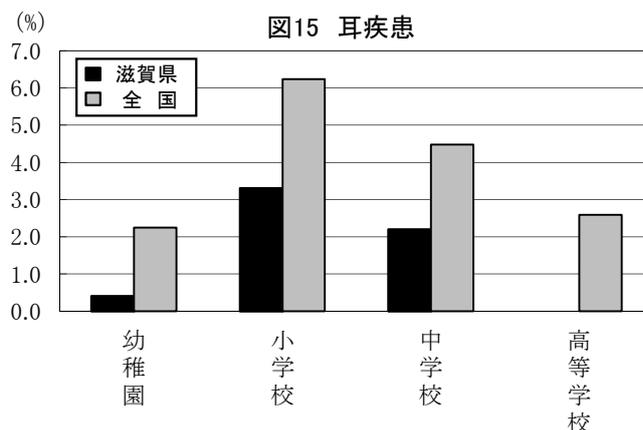
これを全国平均値と比べると、幼稚園で1.9ポイント、小学校で2.9ポイント、中学校で2.3ポイント、高等学校で2.6ポイント低く、全ての学校種別で全国平均値を下回っています。

また、これを前年度と比べると、幼稚園で1.8ポイント減少しましたが、中学校では0.9ポイント増加しました。小学校と高等学校は前年度と同じ数値となっています。

図13～図15 滋賀県と全国の被患率の比較



(注) ・図13の滋賀県の中学校、高等学校は回答数が少ないため、公表していません。
 ・図15の滋賀県の高等学校の数値は「0.0」です。



(4) 鼻・副鼻腔疾患 (図16、表9、表10)

「鼻・副鼻腔疾患」(慢性副鼻腔炎(蓄のう症)、アレルギー性鼻炎など)の者の割合は、幼稚園が1.6%、小学校が4.6%、中学校が3.5%、高等学校が2.7%となっています。

これを全国平均値と比べると、幼稚園で1.3ポイント、小学校で8.2ポイント、中学校で7.8ポイント、高等学校で5.9ポイント低く、全ての学校種別で全国平均値を下回っています。

また、これを前年度と比べると、幼稚園で0.5ポイント、高等学校で0.3ポイント増加しましたが、小学校では1.9ポイント、中学校では0.9ポイント減少しました。

(5) むし歯(う歯) (図17、図19、表9、表10)

「むし歯」の者(治療済みの者を含む。)の割合は、幼稚園が36.9%、小学校が45.5%、中学校が35.9%、高等学校が46.8%となっています。

これを全国平均値と比べると、小学校で1.6ポイント、中学校で1.4ポイント、高等学校で0.5ポイント低く、全国平均値を下回っていますが、幼稚園では1.4ポイント上回りました。

また、これを前年度と比べると、幼稚園で3.4ポイント、小学校で2.9ポイント、中学校で0.6ポイント減少しましたが、高等学校では1.9ポイント増加しました。

むし歯の被患率の推移をみると、平成22年度から全ての学校種別で減少傾向にありましたが、今年度は高等学校で増加しました。

(6) せき柱・胸郭・四肢の状態 (図18、表9、表10)

「せき柱・胸郭・四肢の状態」(せき柱側わん症、せき椎分離症など)の者の割合は、幼稚園が0.3%、小学校が0.6%、中学校が0.7%、高等学校が0.4%となっています。

これを全国平均値と比べると、小学校で0.6ポイント、中学校で1.7ポイント、高等学校で1.1ポイント低く、全国平均値を下回っていますが、幼稚園では0.1ポイント上回りました。

また、これを前年度と比べると、小学校で0.4ポイント、中学校で0.6ポイント、高等学校で0.5ポイント減少しましたが、幼稚園では0.3ポイント増加しました。

図16～図18 滋賀県と全国の被患率の比較

図16 鼻・副鼻腔疾患

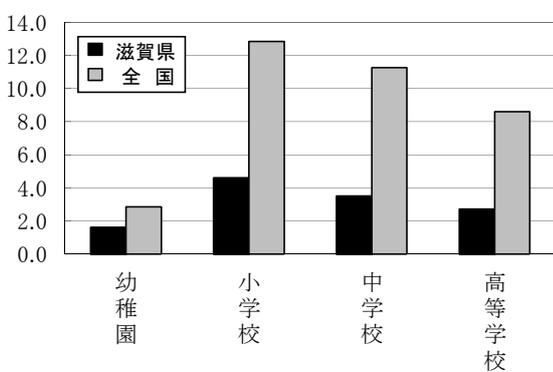


図17 むし歯(う歯)

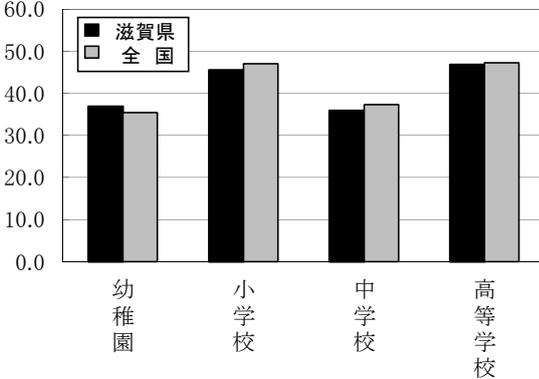


図18 せき柱・胸郭・四肢の状態

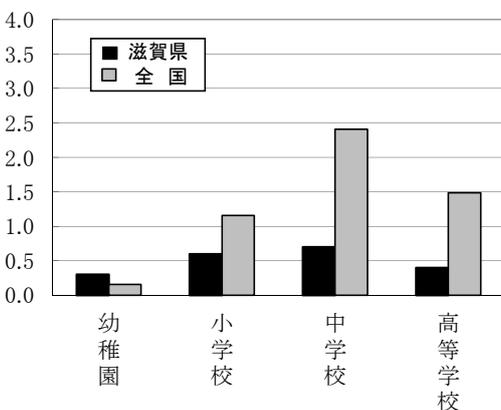
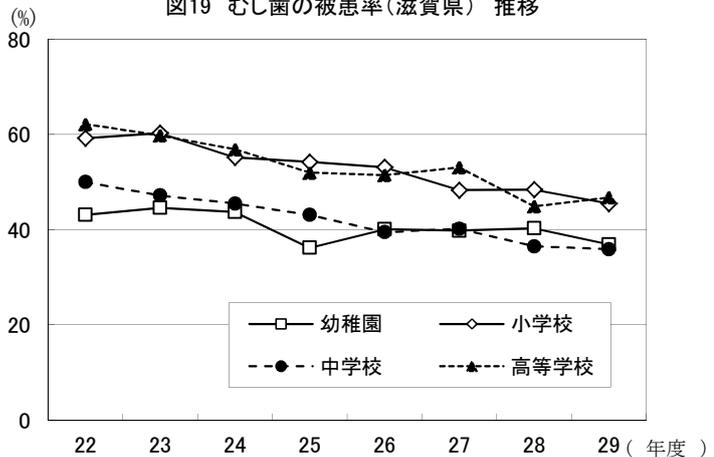


図19 むし歯の被患率(滋賀県) 推移



(7) 心臓の疾病・異常 (図20、表9、表10)

「心臓の疾病・異常」(心膜炎、狭心症、心臓肥大など)の者の割合は、幼稚園が0.9%、小学校が1.5%、中学校が1.5%、高等学校が1.8%となっています。

これを全国平均値と比べると、幼稚園で0.5ポイント、小学校で0.8ポイント、中学校で0.7ポイント、高等学校で1.1ポイント高く、全ての学校種別で全国平均値を上回っています。

また、これを前年度と比べると、幼稚園で0.7ポイント、中学校で0.2ポイント増加しましたが、高等学校では0.1ポイント減少しました。小学校は前年度と同じ数値となっています。

(8) 蛋白検出 (図21、表9、表10)

「蛋白検出」の者(尿検査のうち、蛋白第1次検査の結果、尿中に蛋白が検出された者)の割合は、幼稚園が0.2%、小学校が0.4%、中学校が1.6%、高等学校が2.4%となっています。

これを全国平均値と比べると、幼稚園で0.8ポイント、小学校で0.5ポイント、中学校で1.6ポイント、高等学校で1.1ポイント低く、全ての学校種別で全国平均値を下回っています。

また、これを前年度と比べると、幼稚園で0.1ポイント、小学校で0.1ポイント、高等学校で0.5ポイント増加しましたが、中学校では0.2ポイント減少しました。

(9) ぜん息 (図22、表9、表10)

「ぜん息」の者(気管支ぜん息と判定された者)の割合は、幼稚園が1.3%、小学校が3.1%、中学校が1.7%、高等学校が1.2%となっています。

これを全国平均値と比べると、幼稚園で0.5ポイント、小学校で0.8ポイント、中学校で1.0ポイント、高等学校で0.7ポイント低く、全ての学校種別で全国平均値を下回っています。

また、これを前年度と比べると、幼稚園で0.8ポイント、小学校で0.3ポイント減少しましたが、中学校では0.7ポイント、高等学校では0.3ポイント増加しました。

図20～図22 滋賀県と全国の被患率の比較

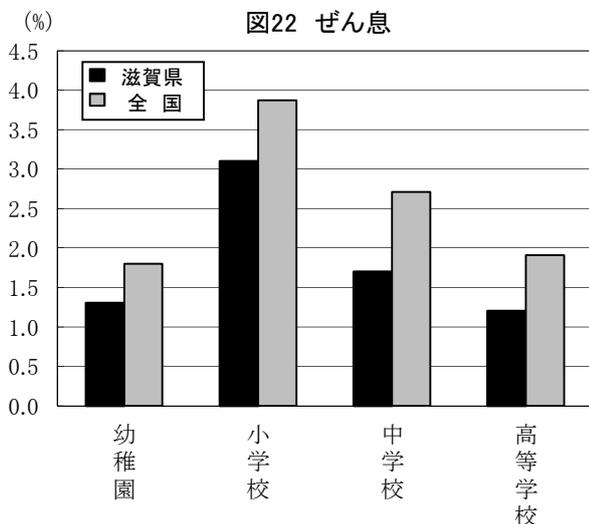
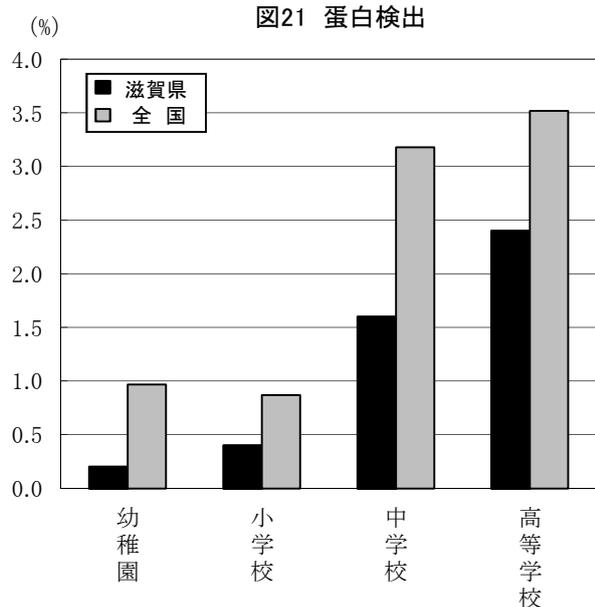
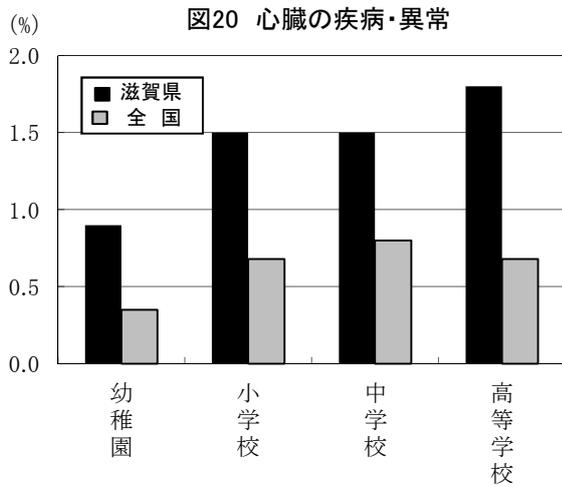


表9 滋賀県と全国の主な疾病・異常の被患率（男女計）

(単位:%)

区分	裸眼視力1.0未満			眼の疾病・異常			耳疾患		
	滋賀県(A)	全国(B)	差(A-B)	滋賀県(C)	全国(D)	差(C-D)	滋賀県(E)	全国(F)	差(E-F)
幼稚園	18.8	24.5	△ 5.7	0.9	1.6	△ 0.7	0.4	2.3	△ 1.9
小学校	25.8	32.5	△ 6.7	2.9	5.7	△ 2.8	3.3	6.2	△ 2.9
中学校	X	56.3	X	3.0	5.7	△ 2.7	2.2	4.5	△ 2.3
高等学校	X	62.3	X	0.6	3.5	△ 2.9	0.0	2.6	△ 2.6
区分	鼻・副鼻腔疾患			むし歯（う歯）			せき柱・胸郭・四肢の状態		
	滋賀県(G)	全国(H)	差(G-H)	滋賀県(I)	全国(J)	差(I-J)	滋賀県(K)	全国(L)	差(K-L)
幼稚園	1.6	2.9	△ 1.3	36.9	35.5	1.4	0.3	0.2	0.1
小学校	4.6	12.8	△ 8.2	45.5	47.1	△ 1.6	0.6	1.2	△ 0.6
中学校	3.5	11.3	△ 7.8	35.9	37.3	△ 1.4	0.7	2.4	△ 1.7
高等学校	2.7	8.6	△ 5.9	46.8	47.3	△ 0.5	0.4	1.5	△ 1.1
区分	心臓の疾病・異常			蛋白検出の者			ぜん息		
	滋賀県(M)	全国(N)	差(M-N)	滋賀県(O)	全国(P)	差(O-P)	滋賀県(Q)	全国(R)	差(Q-R)
幼稚園	0.9	0.4	0.5	0.2	1.0	△ 0.8	1.3	1.8	△ 0.5
小学校	1.5	0.7	0.8	0.4	0.9	△ 0.5	3.1	3.9	△ 0.8
中学校	1.5	0.8	0.7	1.6	3.2	△ 1.6	1.7	2.7	△ 1.0
高等学校	1.8	0.7	1.1	2.4	3.5	△ 1.1	1.2	1.9	△ 0.7

(注)・「X」は、回答校数が少ないため、公表していません。

- ・「…」は、調査の対象になっていません。
- ・「-」は、該当者がいません。

表10 主な疾病・異常の前年比較（男女計）

(単位:%)

区分	裸眼視力1.0未満			眼の疾病・異常			耳疾患		
	平成29年度(A)	平成28年度(B)	差(A-B)	平成29年度(C)	平成28年度(D)	差(C-D)	平成29年度(E)	平成28年度(F)	差(E-F)
幼稚園	18.8	19.9	△ 1.1	0.9	0.3	0.6	0.4	2.2	△ 1.8
小学校	25.8	23.8	2.0	2.9	2.6	0.3	3.3	3.3	0.0
中学校	X	50.7	X	3.0	1.7	1.3	2.2	1.3	0.9
高等学校	X	X	X	0.6	1.0	△ 0.4	0.0	0.0	0.0
区分	鼻・副鼻腔疾患			むし歯（う歯）			せき柱・胸郭・四肢の状態		
	平成29年度(G)	平成28年度(H)	差(G-H)	平成29年度(I)	平成28年度(J)	差(I-J)	平成29年度(K)	平成28年度(L)	差(K-L)
幼稚園	1.6	1.1	0.5	36.9	40.3	△ 3.4	0.3	0.0	0.3
小学校	4.6	6.5	△ 1.9	45.5	48.4	△ 2.9	0.6	1.0	△ 0.4
中学校	3.5	4.4	△ 0.9	35.9	36.5	△ 0.6	0.7	1.3	△ 0.6
高等学校	2.7	2.4	0.3	46.8	44.9	1.9	0.4	0.9	△ 0.5
区分	心臓の疾病・異常			蛋白検出の者			ぜん息		
	平成29年度(M)	平成28年度(N)	差(M-N)	平成29年度(O)	平成28年度(P)	差(O-P)	平成29年度(Q)	平成28年度(R)	差(Q-R)
幼稚園	0.9	0.2	0.7	0.2	0.1	0.1	1.3	2.1	△ 0.8
小学校	1.5	1.5	0.0	0.4	0.3	0.1	3.1	3.4	△ 0.3
中学校	1.5	1.3	0.2	1.6	1.8	△ 0.2	1.7	1.0	0.7
高等学校	1.8	1.9	△ 0.1	2.4	1.9	0.5	1.2	0.9	0.3

(注)・「X」は、回答校数が少ないため、公表していません。

- ・「…」は、調査の対象になっていません。
- ・「-」は、該当者がいません。